

病床が全て稼働していない病棟を有する医療機関について

1 考え方

(1) 国通知（平成30年2月7日付け「地域医療構想の進め方について」）の内容

国通知では、病床機能報告の結果等から、病床が全て稼働していない病棟（過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟をいう。）を有する医療機関を把握した場合には、速やかに、当該医療機関に対し、地域医療構想調整会議（以下「調整会議」）へ出席し、①病棟を稼働していない理由、②当該病棟の今後の運用見通しに関する計画について説明するよう求めることとされた。

なお、病院・病棟を建て替える場合など、事前に調整会議の協議を経て、病床が全て稼働していない病棟の具体的対応方針を決定している場合は、この限りでないこととなっている。

(2) 本県での対応

- 対象医療機関数が多いことを踏まえ、令和元年度病床機能報告（令和元年7月時点）に基づき休棟中等の病棟をもつ医療機関に対して次項の調査を行ったうえで、各調整会議へ報告する。
- 各調整会議において、さらに説明を求める必要があると判断した医療機関については、次回以降に調整会議への出席等を求める。

2 県からの調査結果概要

- 調査期間：令和2年10月9日～10月23日
- 調査対象：令和元年度病床機能報告において、
 - ① 令和元年7月1日の病床機能を「休棟中（今後再開する予定）」として報告した病棟または診療所（22病棟・4診療所）
 - ② 令和元年7月の病床機能は「休棟中」以外（急性期、回復期など）の機能で報告しているものの、全病床を「非稼働病床」（過去1年間患者が入院していない）と回答した病棟または診療所（3病棟・13診療所）

(1) 調査対象病院の状況（令和元年度病床機能報告（R1.7月1日時点））

医療圏	①休棟中		②全病床非稼働		計	
	病棟数	病床数	病棟数	病床数	病棟数	病床数
横浜	3	106			3	106
川崎北部	0	0	1	12	1	12
川崎南部	3	82			3	82
相模原	3	132			3	132
横須賀・三浦	5	176	1	41	6	217
湘南東部	1	55			1	55
湘南西部	4	145			4	145
県央	2	20			2	20
県西	1	32	1	51	2	83
計	22	748	3	104	25	852

(2) 調査対象病院の回答集計 (R2.10月 調査実施時点)

ア 休棟・非稼働の理由

非稼働・休床の理由 (複数回答可)	病棟数	病床数
スタッフの不足	14	462
利用者の減少	2	93
入院を要する対象患者がいなかったため	2	75
工事に伴う一時的な休止	1	57
その他	4	109

<「スタッフの不足」の不足職種内訳>

不足職種	回答病棟数	不足人数の合計
医師	4	合計 7人
看護職	12	合計 211人
介護職	2	合計 12人
リハビリ職	1	合計 30人

<その他の内容>

- ・地域包括ケア病棟で再稼働を見込んでいたが、2020年報酬改定により要件を満たせなくなったため
- ・臨床試験専用病床のため
- ・人員体制の確立とインフラ整備に時間を要するため
- ・休棟中の病棟の振り替え

イ 今後の再開見込・予定等

今後の予定等	病棟数	病床数
既に再稼働済み	6	209
再開予定時期の見込がたっている	4	90
病床返還を検討中 (時期未定)	1	57
その他	14	457

※再稼働済みの病棟のうち、1病棟(4床)については、令和2年2月から神奈川モデル協力病院として届出を行いコロナ病棟として稼働中。

<その他の内容>

- ・スタッフの確保がつき次第再開したい(7箇所)
- ・建物老朽化のため移転を検討しているが、適当な場所が見つからない
- ・2022年頃には介護医療院として稼働させたい。現病床の稼働率を上げることとスタッフの充足が課題
- ・慢性的な看護師不足に併せ、近隣地域の就労人口が少ない。また、当院より他院の方が賃金が高く応募に至らない。
- ・COVID-19の感染拡大状況や地域の医療ニーズ等を踏まえて検討していく。

(3) 調査対象診療所の状況（令和元年度病床機能報告（R1.7月1日時点））

医療圏	① 休棟中				② 全病床非稼働				合計	
	診療所規模			病床数 合計 (床)	診療所規模			病床数 合計 (床)	診療所 数 (箇 所)	病床数 合計 (床)
	10-19床 (箇所)	5-9床 (箇 所)	4床以下 (箇 所)		10-19床 (箇所)	5-9床 (箇所)	4床以下 (箇所)			
横浜	2			29	2		5	49	9	78
川崎北部						1		8	1	8
川崎南部		1	1	5			1	2	3	7
相模原									0	0
横須賀・三浦					1	1		16	2	16
湘南東部					1			19	1	19
湘南西部									0	0
県央									0	0
県西						1		9	1	9
計	2	1	1	34	4	3	6	103	17	137

(4) 調査対象診療所からの回答集計（R2.10月 調査実施時点）

ア 休棟・非稼働の理由

非稼働・休床の理由（複数回答可）	診療所数	病床数
スタッフの不足	6	69
利用者の減少	4	44
分娩取扱休止のため	3	10
母体保護法指定施設としての病床だが、対象案件がないため	3	9
入院を要する対象患者がいなかったため	7	28
その他	6	56

<スタッフ不足の状況>

不足職種	回答箇所数	不足人数の合計
医師	4	合計 5 人
看護職	4	合計 12 人
介護職	2	合計 6 人

<その他の内容>

- ・臨床試験にて使用
- ・入院の点数の低さにより維持困難等

イ 今後の再開見込・予定等

今後の予定等	診療所数	病床数
既に再稼働済み	4	51
既に病床返還済み	1	2
再開予定あり	2	8
病床返還を予定	2	12
その他	8	64

<その他の内容>

- ・スタッフが確保でき次第（2箇所）
- ・入院対象者がいたときのために病床は確保
- ・設備基準の変更により建物の改修変更が必要となるため。
- ・設備維持等必要経費も十分賄える診療報酬（病院と同等の診療報酬）が支払われるようになり、医療スタッフも整ったときに再検討する。
- ・母体保護法指定施設として病床は確保 等

(5) 川崎地域における該当病院からの回答

医療機関名	病棟名	病床機能報告(R1.7)での報告状況							追加調査への回答				
		R1.7の機能	6年後予定	一般病床			療養病床			休棟始期	休棟中または非稼働の理由 ※スタッフの不足の下は、不足する職種・人数を記載	今後の予定・見込時期等 ※()内は再開時の病床機能	自由記載
				許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数	許可病床数	稼働病床数	非稼働病床数				
聖マリアンナ医科大学病院	別館6北病棟	高度急性期	高度急性期	12	0	12	0	0	0		◎R1.10～再稼働済(高度急性期)		
日本鋼管病院	第2南病棟	休棟中	急性期	37	0	37	0	0	0	H30.5～	◎当院として地域から求められる外科系診療科の選定と当該診療科の医師の採用に目途がたち、既存診療科と有機的に診療を行い、一般急性期病院としての機能をスケジュール化できた時点で実行に移す。		
特定医療法人愛仁会太田総合病院	HCU	休棟中	急性期	4	0	4	0	0	0		◎R2.9～再稼働済(急性期)	◎R2.2.9から神奈川モデル協力病院として届出を行いコロナ病棟として稼働中(3床個室)	
医療法人社団愛成会京浜総合病院	6階病棟	休棟中	慢性期	41	0	41	0	0	0	H21.2～	◎スタッフの不足・看護職員:15人	◎建物老朽化のため移転を検討しているが、適当な場所が見つからないため	